



1. 福わらひおとし噺 下巻

一 福わらひおとし噺 下卷





四
版新嶋臺眼正月
上卷





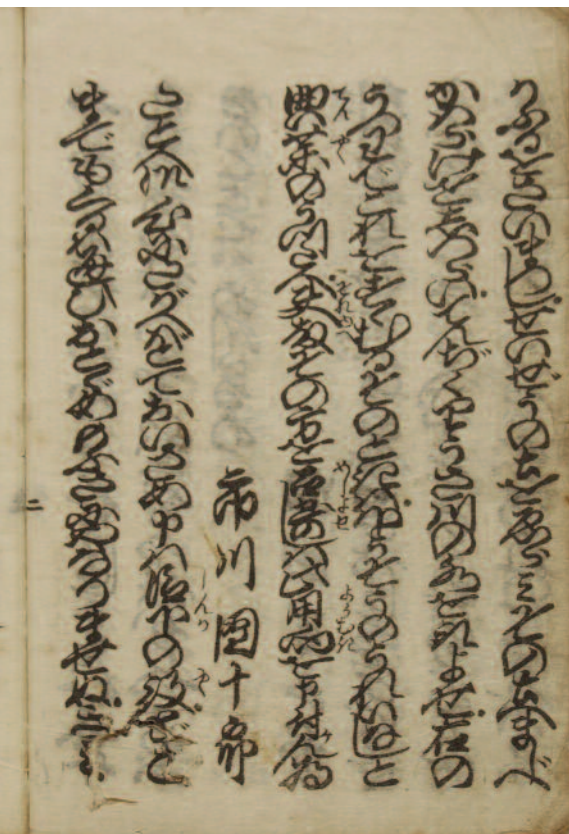


2.新版新建立忠臣蔵天道大福帳 下巻



51. 拳早指南 (梅暮里谷我著)

三七 繪本番附五册合本（寛政六、七年刊）



倭漢田鳥集卷上

序

約規繩者ル磨々焉ナリ隘矣ニ逸風月者ニ靡々焉ナリ不恭
要只在未忘名與身宜矣ナリ君子不由也ナリ散入三
千風者遊敷島道慕西行之風尚矣ナリ腰包頂笠
踏遍六十六州既歸之後探鳴立澤之遺踪班
荆蔭松遂成寶坊攸往以慈忍懷焉ナリ所爲以廉
謹稱焉然而蘧廬天地夢幻人物于々然焉々
然自這裡入則向上玄關可跂矣ナリ名韋利鎖之
不拘束也足觀焉約而能達逸而不流者與關

は集まらば序一章と彩ひなれど、
知音我もくし、靡々のあやうさう
面白く今さううや、好く
先く、さうとゆり、さう、はなへく

五九 三十六番句合（山口素堂編）

と十五番 雪

左 近江八景の月比叡の雪をあらわす

為政片 月多雪の深きく比叡の雪

右

炭竈十様も所集もす月も雪

松元雅才

三十六番 五子

左

大毎

和布が長 五子の旗又さゆり

右

明戸破端より磨くはな

をえうりの種事から毎日のお半
よりより 遠の西國へ伝へハ
お半お半さつておさゆりんとお
半お半のふゆさ事お半お半なりと
お半お半お半お半お半お半

芭蕉流百條秘解

卷之辨論

詩起

卷之辨論 混沌の中を理を極め一章動き初め
ゆるゆる陰陽の交わりを切る切字を切る
ゆるゆる理を知り切る切字を切る
ゆるゆる章句の理を切る切字を切る
ゆるゆる白字の理を切る切字を切る
ゆるゆる切字の理を切る切字を切る



25.新編鎌倉志（貞享二年刊）

二五 新編鎌倉志（貞享二年刊）



○大佛 附切通

大佛ハ大異山淨泉寺ト號ス此所ヲ深澤ト云。大佛ノ坐像長三丈五尺。膝ノ通りニテ。横五間半。袖口ヨリ指ノ末ニテ二尺七寸餘アリ。建長寺持分ナリ。東鑑ニ曆仁元年三月廿三日。相模國深澤里大佛殿ノ事始ナリ。僧淨光尊卑繼素ヲ勸進シテ。此營作ヲ企ツ。同五月十八日。大佛ノ御頭奉奉ル。周八丈ナリ。仁治二年三月廿七日。深澤ノ大佛殿。上棟ノ儀アリ。寛元元年六月十六日。深澤村ニ一字ノ精舍ヲ建立シ。八丈餘ノ阿彌陀ノ像ヲ安ス。

二五 新編鎌倉志（貞享二年刊）



○腰越村

腰越村ハ江島ノ前村ナリ。江島ノ縁起ニハ昔江島ニ惡龍住テ人ノ子ヲ吞タル故ニ子死戀ト書リトアリ。此村ノ西北ハ固瀬村也。太平記ニ新田義貞遣兵二萬餘騎ヲ卒ニテ片瀬腰越ヲ打廻リ。極樂寺坂ヘ打落ミ給フトアルハ此道筋ナリ。假粒坂ノ方ヘ向ハレケルユヘニ打廻リトハアルナリ。鶴岡一島居ヨリ。此所マテ六十町アリ。

○満福寺 附硯池

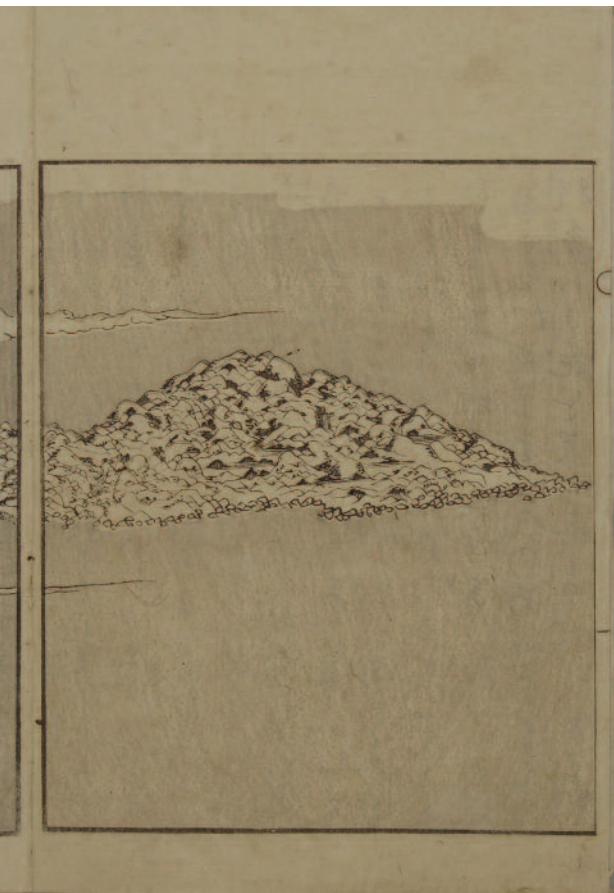
満福寺ハ腰越村ノ中ニアリ。龍護山ト號ス。真言宗ナリ。開山行基。本尊藥師。行基不動。弘法此寺地ハ昔源

二五 新編鎌倉志（貞享二年刊）

通ラントテ馬ヲ早メテ行程ニハ松原腰越稻村由
比ノ濱ヲ打越テ小坪坂ヲ上ルトアリ鴨長明カ
歌ニハ松ノ八千代ノカゲニヲモナレトトカミカハ
ニ色モカハラジ



二六
七島日記





二六
七島日記





二六 七島日記

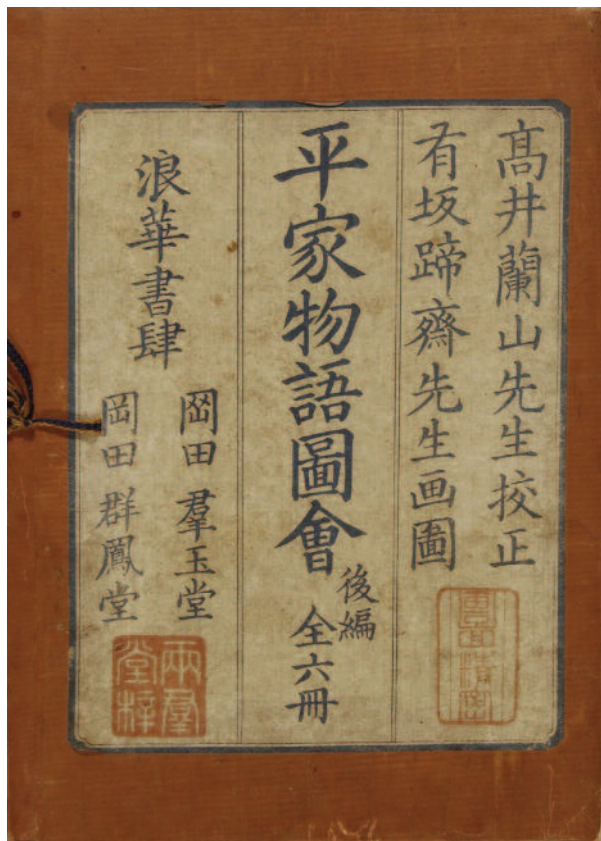


足なうあひと
けふまわさち
あつたや
そのあひより
あかかくみそと
くもものちや
あちひちちて
あひより又その
あひより中へハ
むてふちちち
つのはげまもハ三四尺
かゝる





41.平家物語圖會



41.平家物語圖會

四一 平家物語圖會



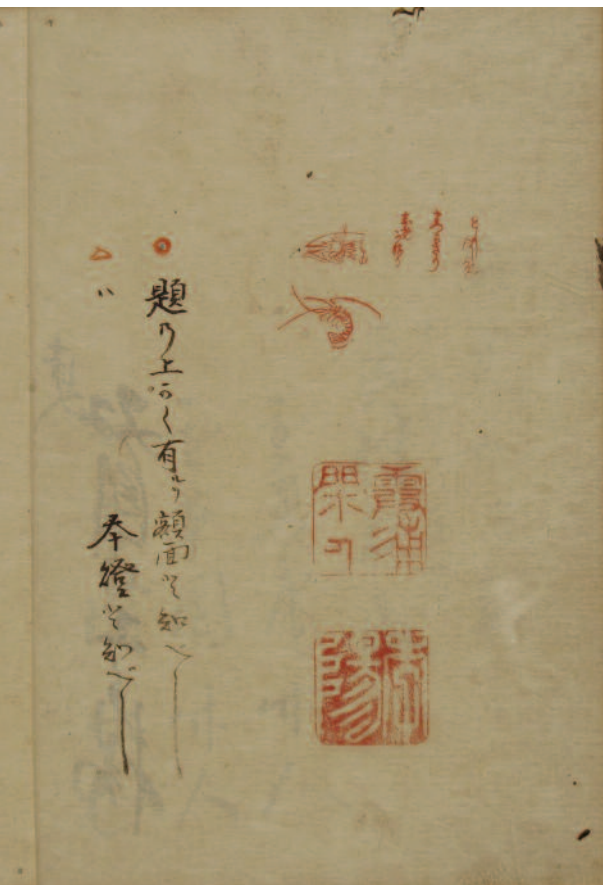


六八 墨水流燈會記

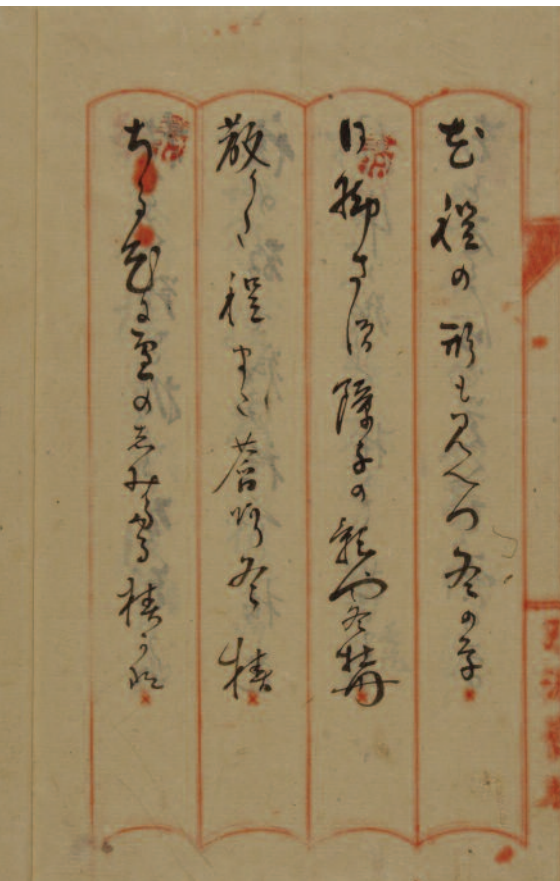


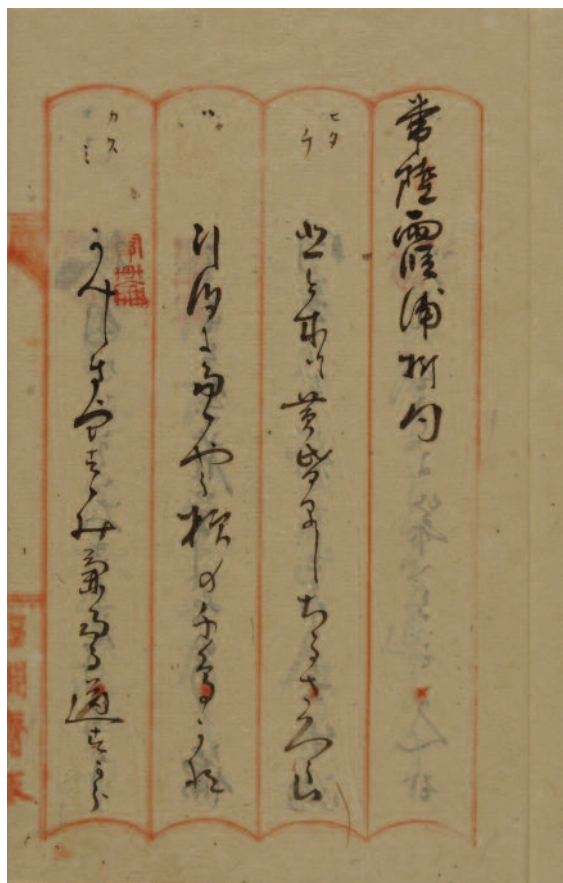


七五 双淵齋奥村李楊自筆俳諧史料及俳諧刊本ノ一括



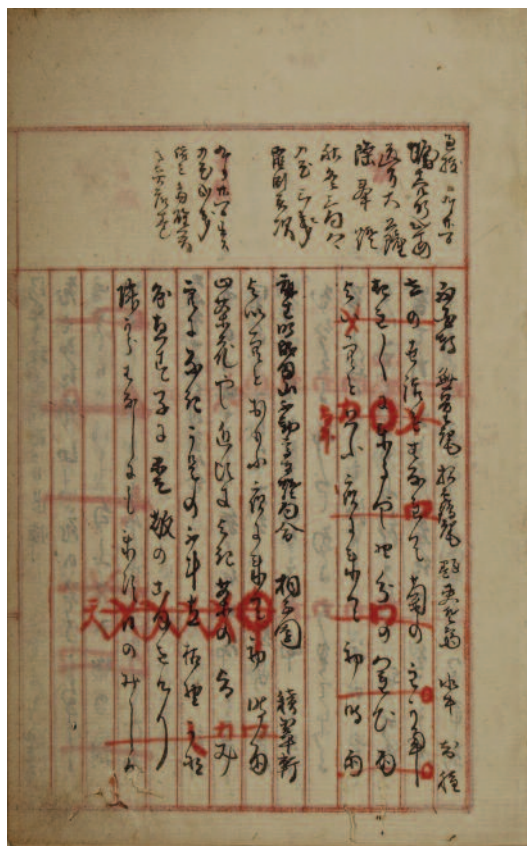
七五 双淵齋奥村李楊自筆俳諧史料及俳諧刊本ノ一括







75. 双淵齋奥村李楊自筆俳諧史料及俳諧刊本ノ一括



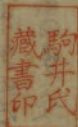
75. 双淵齋奥村李楊自筆俳諧史料及俳諧刊本ノ一括

口上
 私ハ幼少より横濱 英和 女子学校長ニスウレヤム氏
 威化を受けりて深く英基督様を信し厚く貴
 國の恩恵ニ浴び奉りてその御鴻恩ハ寸時と心
 ことはあせと殊々先年同東大震災の時貴國上下の
 手あ様から寄せられた御救恤に感動し奉りて貴國
 の戦争の惨状を聞き及ぶには力から思ひませんと
 此大震災に際し全日本に貴國の御救恤に
 食料難、悲状、御救恤の御救恤の手を
 差延し御救恤くださいたことハ心から感激して戴

117. 吉田茂直筆マッカーサー元帥ヲ迎エル口上書斷簡

夜談議序

當時世上の龍虎上の教草ありて各々布番
 那の辨代振ふといへるも皆古入田天王と呼ま
 ちる市川團智松平章巖大谷系瑞澤村宗智
 う説き舊しちる糟粕しるを聞はるは是
 僧今晩演説改を龍虎の仇疾の中山谷間の鐘
 靈陽記と太平記と成石記ともちあみ楠正
 成と大石良雄ハ真の忠臣義士とあらは基ふ
 忠ふ義の義長なりと其罪状逐々奉て世の
 長たる人としてまよひを解しめ世俗と





81.當世商人氣質（饗庭篁村著）



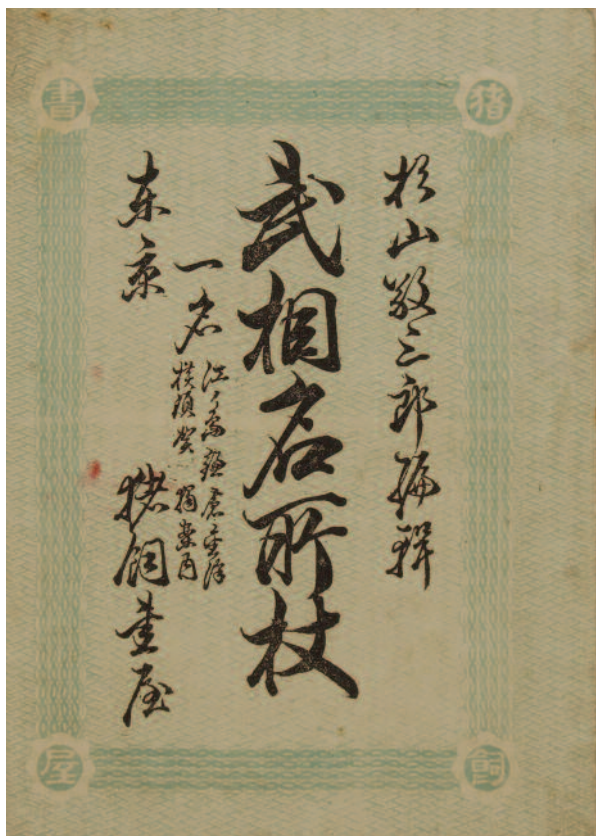
82.改良小説愛縁奇縁（大久保夢遊著）



84. 鮮血忠魂大日本民權史



83.志士宴會 月夜



122.武相名所杖



123.伊香保温泉遊覽記



98.英和對譯西洋落語（牛山良助編譯）

一 福わらひおとし嘸 下卷
 一丁數「六」ゝ「十」

明和安永頃刊

策 村田板

無刊記

中一冊

一〇〇、〇〇〇

一〜三頁参照



二

— 新建立天道大福帳 下卷 簽
版忠臣藏 喜三二戲作 天明六
黃表紙 北尾政美画

下卷

簽

喜三二戲作

天明六

中二冊

五〇、〇〇〇

六頁參照





三

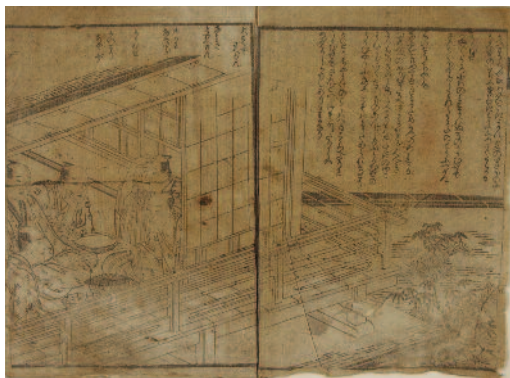
料理頭てん天口有 上卷

大田南畝作

天明四刊

中二冊 一〇、〇〇〇

黄表紙 勝川春潮画 第一丁ト第五丁欠存三丁 表紙欠 手擦レ穴有り
柱「大つうそく」



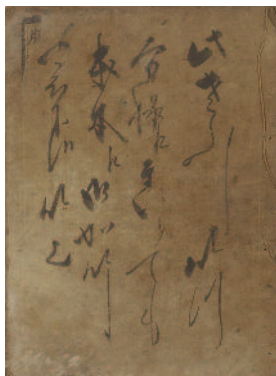
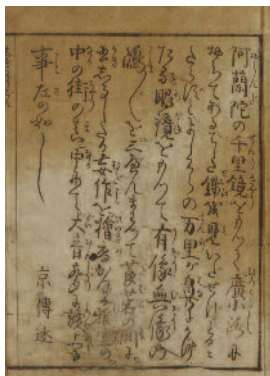
四

新嶋臺眼正月 上巻 簽欠（僅存）

— 版黄表紙 社樂齋万里作 山東京傳画 京傳序 天明七

中一册 五〇、〇〇〇
柱「志まわうごん」

四〇五頁参照



五 龜山人家妖 上卷

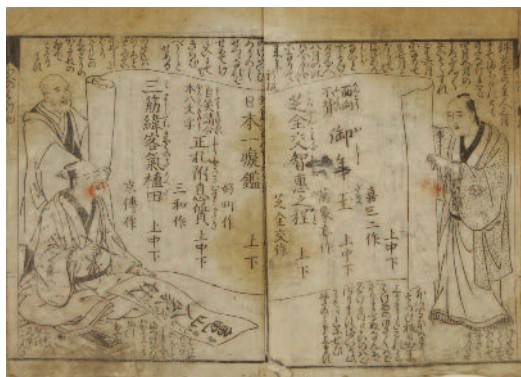
— 黃表紙 北尾重政画

題簽欠

喜三二作

天明七年刊

中一冊 一五、〇〇〇



六

若草屋若草濱細砂相續赤本 存一三丁 文化一三年刊 中一册 一〇、〇〇〇
 浮世猪之助 東西菴南牧作 勝川春扇画 岩戸屋喜三郎板 手擦レ傷ミ欠字有り



七

逆簾乃於梅
金王櫻兜鉢植

一三丁迄存
文政二年刊

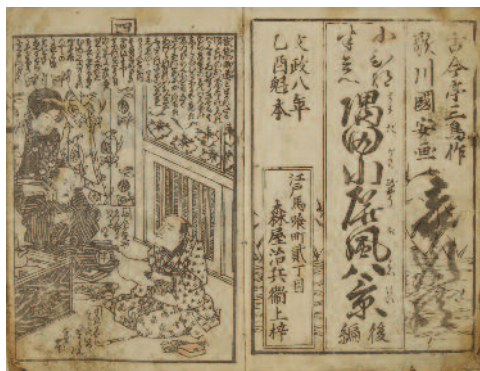
中一冊 二〇、〇〇〇
ヤヤ手擦レ傷ミ

東里山人作 勝川春亭画

外題／美丸画 岩戸屋板



八
 小半 雛隅田川屏風八景 前後 古今亭三鳥 文政八 中二册 一五、〇〇〇
 | 兵衛 歌川國安画 森屋治兵衛上梓 手擦レ特ニ上卷ニ強イ手擦レ欠字有り



古今亭三鳥作
 歌川國安画
 小半 雛隅田川花柳八景 前後
 文政八年
 乙酉魁本
 江戸駿河町丁目
 森屋治兵衛上梓

九 福神雙六道中 籤欠 十返舎一九自序 文政八孟春刊 中一冊 三〇、〇〇〇
 一 勝川春亭画 (國書) 卷頭墨 傷ミ虫穴



一〇

浮世伊之助
若名屋わか草

契情身持扇

二編上下卷

文政九年刊

中二冊

三〇、〇〇〇

山東庵京山作

五渡亭國貞画

板元／森治



二

風金魚でん上編之式
— 森屋次兵衛板

曲亭馬琴作

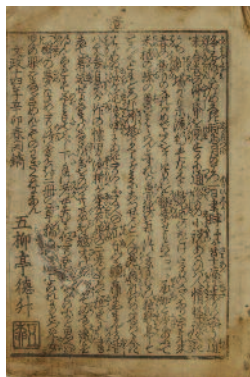
國安画

文政一二

中二冊 一〇、〇〇〇



三 傾城外八文字 上卷 五柳亭徳升作 文政一四春刊 中二册 五〇〇〇
 | 歌川安秀画 一二丁迄存後落丁 巻頭虫穴



三 千代緒良著聞集 第壹輯四卷合 曲亭馬琴作 天保三 中二册 一五、〇〇〇
 一 歌川國安画 西村屋與八板 第貳(卷三・四)裏紙欠 一丁少欠損



一四 浮世源氏繪 第五編八卷合本 山東庵京山作 天保四 中二冊 一〇、〇〇〇



一五 三國志畫傳 六編上下卷
 十返舎一九著 歌川国安画

甘泉堂梓 天保四年刊
 和泉屋市兵衛版

中一册 一五、〇〇〇



- 一六 仇競花夕陽榮 第二編上下卷 松亭金水作 天保一〇 中二册 五、〇〇〇
 一七 震齋貞房画 上巻表紙欠 下巻裏紙欠 一筆葺主人作 嘉永二年刊 中二册 五、〇〇〇
 一陽齋豐國画

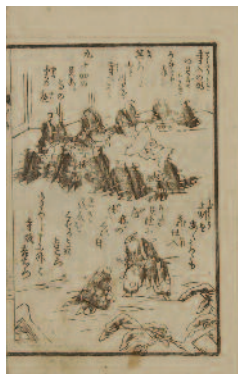


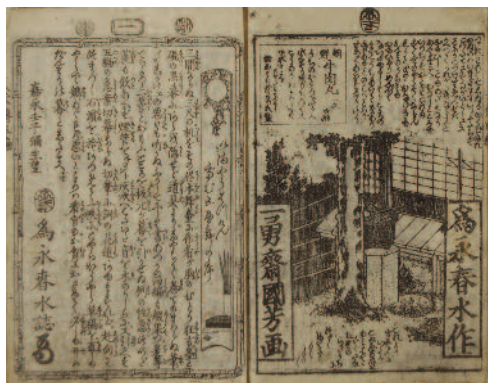
一八 忠臣藏新柳樽 初編
— 東都／明石堂梓

十方舎一九戲墨

嘉永三孟冬刊

中一冊 二五、〇〇〇





一 九 筑紫文庫荳譚 一 盛齋芳直画 安政二刊 (國書)
 二〇 今様八犬傳 第四・五編合本 爲永春水自序 嘉永五
 | 公羽堂 / 伊勢屋忠兵衛開板
 中一册 一〇、〇〇〇
 中二册 五、〇〇〇

二

和武者相撲 第三・四編 梅暮里谷峯編 無刊記 中一冊 二五、〇〇〇
 五雲亭貞秀画 版心「武者相撲四編／五編」 第五編裏紙欠



三
 新作はなし 英松画 司馬龍生作
 江戸難波町／上總屋久藏板
 卷末虫損 無刊記
 中一冊 一五、〇〇〇



二三

三國志畫傳

初篇、廿一編各上下卷揃

嘉永五、七

中四二冊

一五〇、〇〇〇

―重田貞一（十返舎一九）譯

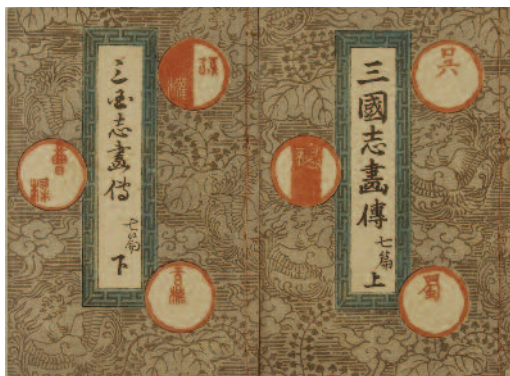
歌川國安画

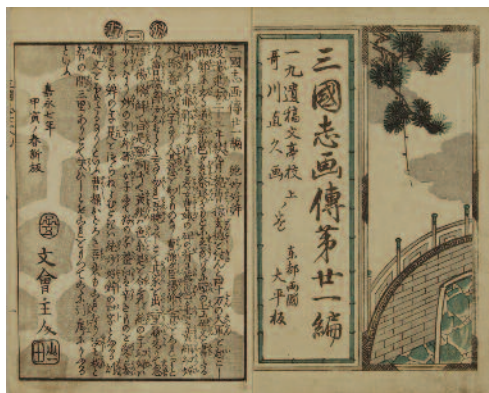
松壽堂梓

極美本 木製表紙時代帙入

七二、七三頁參照







二四

五十三次膝栗毛

寫本

文亭春峩著

明治四年寫

中一冊

三五、〇〇〇

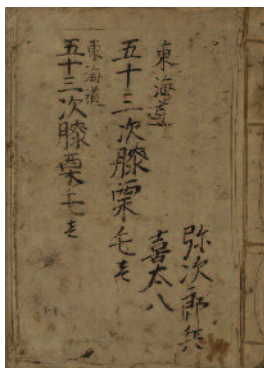
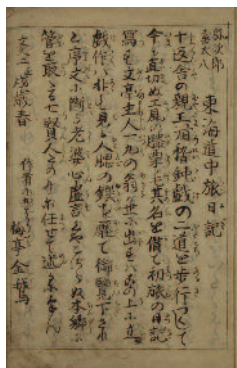
―内題「弥次郎東道中旅日記」

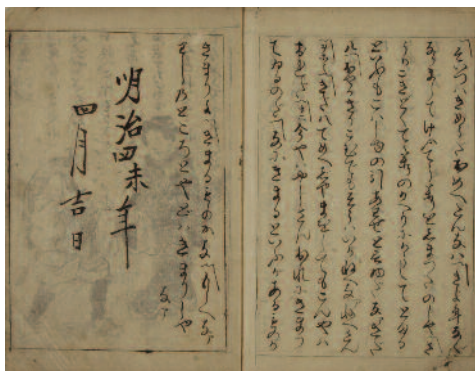
梅亭金鷲（瓜生政和）序

日本橋沼津

『國書』

ニヨレバ二編二冊／文久二年刊。傳本稀。





二五 新編鎌倉志 總目・八卷

元合本 貞享二年刊 大五冊 一〇〇、〇〇〇

―河井恒久友水父纂述 松村清之伯胤父考訂 力石忠一叔貫參考補

洛下書林／柳枝軒茨木方淑藏版 崔山野節・力士誌忠一序

首尾二互リヤヤ虫損有り。總目冊卷首虫損ガ強イモ判讀デキヌ程デハナイ。「翠松軒」朱印。

一五、二二頁参照







方以資好義慈惠數日始得此木
遂斲之梓以廣其傳云
貞亨二年歲次乙丑八月吉旦
落下書林
柳枝軒茂木方淑識

題新編錄舍志後
夫錄舍之為地也固
本邦之一都會自夫豫州創鵲園與
州宅廳谷而遂為源氏裔永隆迄
右將軍府于斯瑞泉建鎮于斯與
世相承迺遂久以故治亂興亡

二六

七島日記

上中下卷

原裝題簽附

美本

文政七年序

大三冊

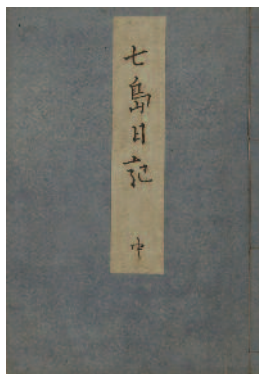
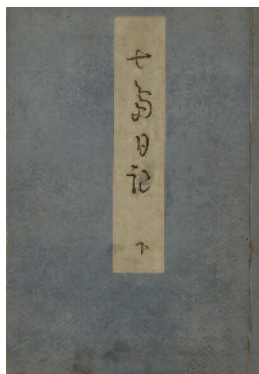
二八〇、〇〇〇

一 小寺應齋撰

文政甲申五月竹醉日／鵬齋老人龜田興序

一部彩色摺ニ雲母摺。上中卷ガ本文デアリ下卷ハ卷首卷末ヲ除イテ全丁
圖譜トナル。上中卷ノ欄外ニ少虫損。

三二・二七・八二・八三頁參照







二七

念仏安心

題簽上部二分存

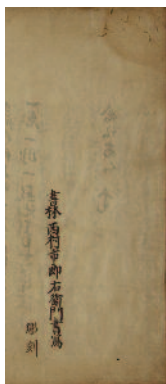
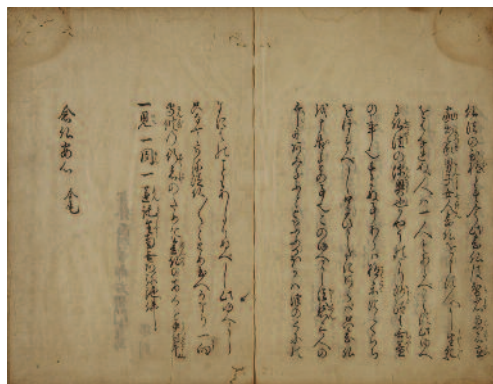
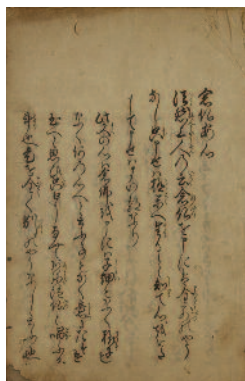
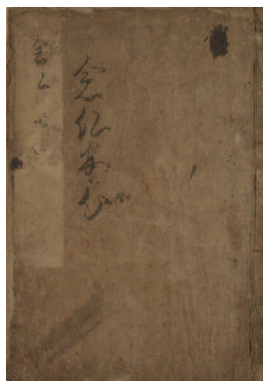
無刊記

貞享元祿頃刊

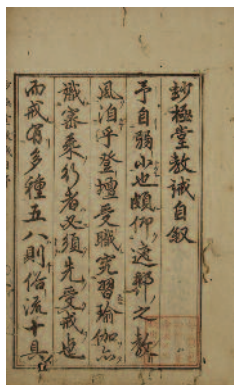
大二冊

五〇、〇〇〇

—書林／西浦市郎右衛門書寫／彫刻



二八 妙極堂教誡 書キ題簽 ヤヤ虫 淨嚴著 元禄二年序 大二册 三〇、〇〇〇



說者初學者聊抽出之是非
周于他寺他門唯訓吾黨之
小子而已昔
元禄二歲次己巳孟春吉
河南奉菩薩戒英菊淨嚴題

妙極堂教誡條目
發心為先 受持三聚 先受灌頂
損已益物 折我拉慢 衣食住處
修學勿懈 次序和合 不混異門
不離無戒 禁酒肉辛 真祭寢寢
出眾交接 佛法僧事 講論威儀
交俗學外 祭祀歌舞 晚年入道

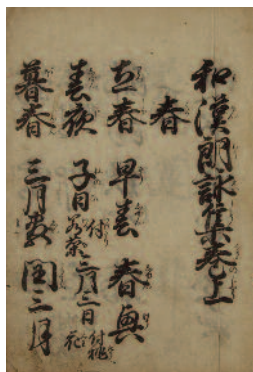
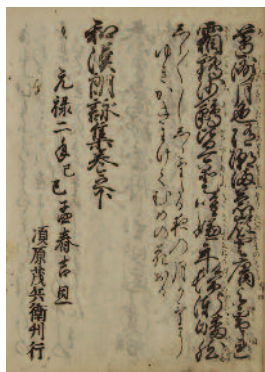
二九

和漢朗詠集 上下卷
— 須原茂兵衛刊行

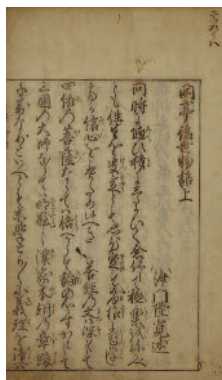
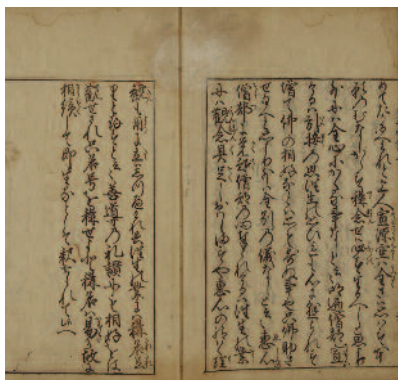
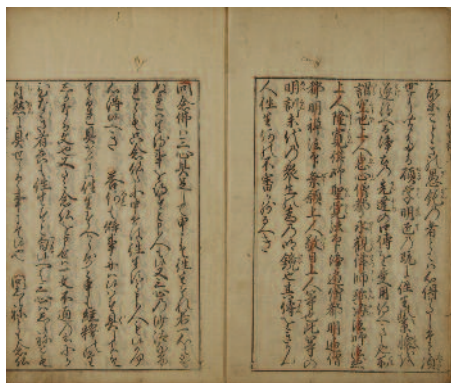
籤（上卷籤表裝欠）

元禄二年刊

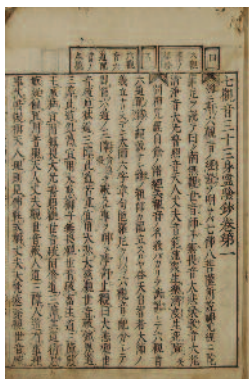
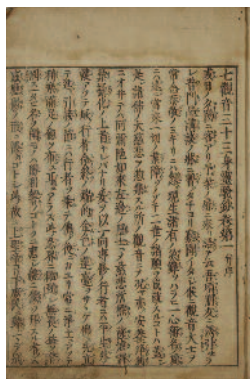
大ニ册 一〇、〇〇〇



三〇 閑亭後世物語 上巻 簽欠 沙門隆寛述 元禄五年刊 大二册 一五、〇〇〇



三
一 七觀音三十三身靈驗鈔 八卷合本 簽欠 元禄八年刊 大三册 五〇、〇〇〇
— 心夢著 洛陽書林／川勝五郎右衛門・永田調兵衛壽梓



三三

野山名靈集

五卷

簽

美本

泰圓著

寶曆二年序刊

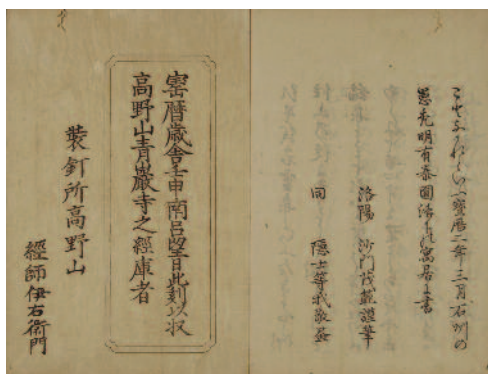
大五冊

五〇、〇〇〇

一裝釘所高野山／經師伊右衛門 早印本

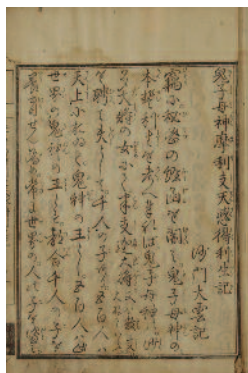
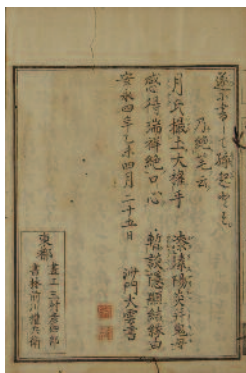


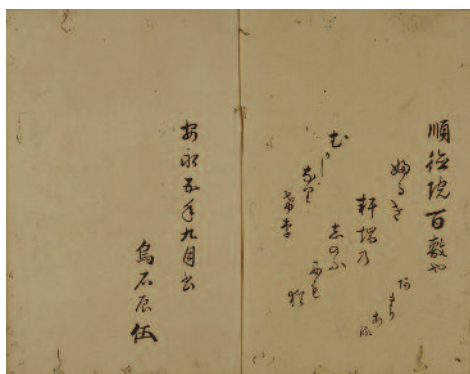
醍醐之法，為新處三地之貴，運為
帝者之師，長遊人法，無二之化，極真十
南山之頂，爾來九百有餘，於矣，常在
之化，日新焉，於茲，妙有字，泰圓，欲流
芳於萬年，而為之，不朽，則記其事，步
名靈集，圖畫人境，而目擊光彰，席勝
事業，而認得，心口大師，應運，護神靈
異 仙院宸遊，相將登陟，步數乘
日月，而微之，青史，先哲詩賦，名卿，詠
歌，非寄靈地，而潤色，勝境，披之，和
其，其，喜，其，勸，焉，大師，高風，人共，懷之，亦不
可，若，焉，唯，茲，記，者，之，考，證，而，為，之，序，云，爾
寶曆三年歲次己丑金春月錄大 源實賴撰



三三

鬼子母神摩利支天感得利生記 題簽欠 安永四年奥書 半一冊 四五、〇〇〇
 一沙門大雲記 東都／畫工／三村彦四郎 書林／前川權兵衛 薄染ミ





三五

手習早學問

簽

ヤヤ虫

信龍伯鱗編次

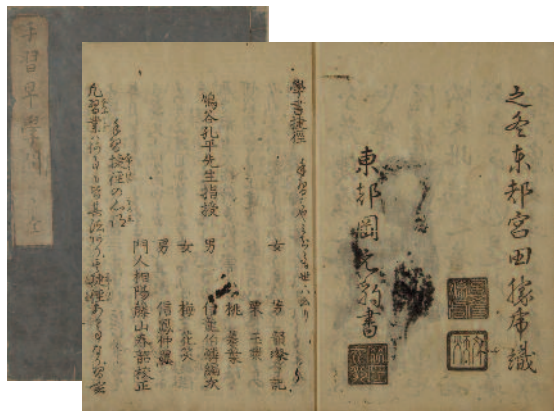
安永七序

半二冊

一五、〇〇〇

―内題「學書捷徑」

序文二大墨落書



三六

近世畸人傳

正續各五卷

簽

伴蒿蹊著

寛政二年序

大ニ〇冊

五〇、〇〇〇

一三熊花顛画 正編ノ題簽三冊剥落



三七

繪本番附五册合本

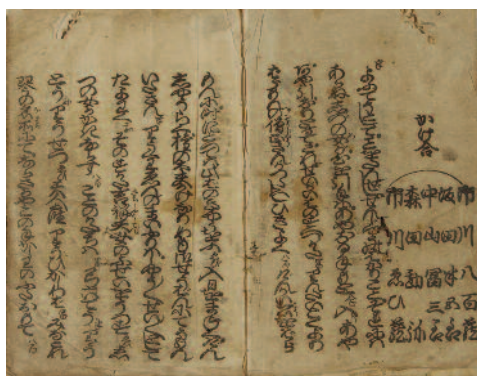
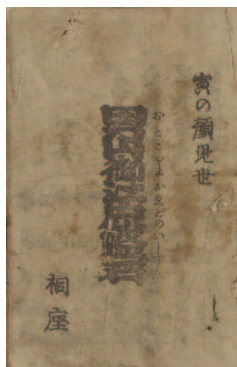
―『男山御江戸盤石』桐座・『閨訥子名歌誉』都座・『江戸砂子慶曾我』都座・『時令廓花道』桐座・『遊君操吉原養育』都座

寛政六、七年刊

小一册

八〇、〇〇〇

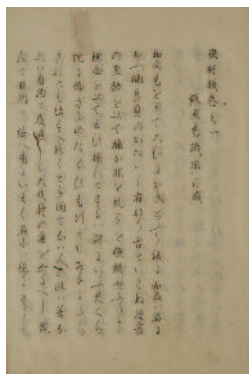
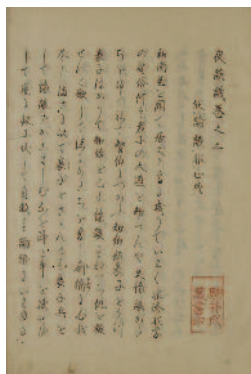
八・九頁参照



三八 夜談議 一〇卷 元合本 帙入 精寫本 江戸後期寫

大五冊 六〇、〇〇〇

四一頁参照



四〇 梧窓漫筆 前後編各上下卷簽美本 大田錦城 文政五 大四冊 二〇、〇〇〇

